

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	健康と科学	
科目基礎情報							
科目番号	0129			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	最新スポーツルール（大修館） / 必要に応じてプリント、ビデオ等を使用する。						
担当教員	大山 泰史						
到達目標							
1. 選択した運動種目のルールを理解し、ゲームができる。(A1,E3) 2. 体力向上の必要性と生涯スポーツのうえ方が説明できる。(A1,E3) 3. 生活習慣病、癌、循環器疾病などと健康について説明できる。(A1,E3)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
選択した運動種目のルールを理解し、ゲームが出来る。		各種目の動作ができ、ルールを理解してルールに則ったゲームを公正に運営・審判できる。 授業で使う道具や施設の準備を行ったり、それらを安全に配置したり、安全に授業・ゲームを進行することができる。		各種目の基本動作動作ができ、ルールに則ってゲームを運営できる。 また、施設設備を適切に扱い、安全に配慮できる。		各種目のルールに則った行動や安全に配慮したプレー・活動・ゲーム運営ができない。 また、生涯スポーツに必要な、体力に応じてスポーツを楽しむ事、残全に配慮して取り組むことができない。 授業で使う道具や施設を安全に適切に使用できない。	
体力向上の必要性と生涯スポーツのうえ方が説明できる。		他者・他チームと協力協調して、ゲームの参加・応援・補助・運営を実施し、計画的にゲームや練習をすることができる。 また、体力に応じて皆がスポーツを楽しむ事、ケガなどの安全に配慮して体力差を緩和することができるので、体力向上の必要性と生涯スポーツの重要性を説明できる。 経験者はチームやクラスメイト学生（未経験者）に指導をし、その学生の技能を高めることができる。		他者・他チームと協力協調して、計画的にゲームや練習をすることができる。 また、スポーツを楽しむ事、安全への配慮ができ、体力向上の必要性と生涯スポーツの重要性を理解できる。 経験者はチームやクラスメイト学生（未経験者）に技能向上に関する指導をすることができる。また、競技やゲーム運営の手法として活動することができる。		他者・他チームと協力協調して、ゲームや練習をすることができない。 また、スポーツを楽しむ事、安全への配慮ができ、体力向上の必要性と生涯スポーツの重要性を理解できない。 経験者でありながらチームやクラスメイト学生（未経験者）に技能向上に関する指導や競技やゲーム運営及び補助を行わない。 個人活動の割合が多くなったり、自分本位な活動ばかりを行う。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 E-3 JABEE c JABEE h JABEE i							
教育方法等							
概要	科学的知識に基いた健全な心身が生涯に渡って実践できる能力を身につける。体育・スポーツ活動での競争や共同作業の経験を通じて、自己の最善を尽くす態度や協調性など卒業後の社会生活における望ましい生活習慣や態度を養う。						
授業の進め方・方法	授業場所：第一体育館かグラウンドにて行う。その他、必要に応じて第二体育館、総合グラウンド、教室でも実施する。 授業形式：実技を中心に進め、前期と後期にそれぞれ講義と筆記試験もしくはレポート課題を1回ずつ実施する。 用意するもの：学生が各自で指定の体操服と体育館シューズ、グラウンドシューズを用意しておくこと。 主な授業内容： ＜前期＞ 1. 選択種目：準備された種目から2種目以上を選択し、グループごとに練習計画、ゲーム、課題解決を行う。 また、その種目が持つ楽しさを見だし、健全な心身をつくる。 【団体種目】：ソフトボール、バレーボール 【個人種目】：テニス、ゴルフ、バドミントン、卓球 2. 青年期の身体組成と健康問題および運動処方について学び筆記試験もしくはレポート課題を行う。 ＜後期＞ 1. 選択種目：準備された種目から2種目以上を選択し、グループごとに練習計画、ゲーム、課題解決を行う。 また、その種目が持つ楽しさを見だし、健全な心身をつくる。 【団体種目】：サッカー、バスケットボール 【個人種目】：テニス、ゴルフ、バドミントン、卓球 2. 生活習慣病および血糖値について学び筆記試験もしくはレポート課題を行う。						
注意点	評価方法：実技試験、体力テストによる評価65%(A1,E3)、筆記試験、レポート等20%(A1,E3)、授業への取り組み等15%(A1,E3)で評価を行い、60点以上を合格とする。 自己学習の指針：最新スポーツルール（大修館）を活用し、授業内容の理解がより深まるように各種目の技術やルールを予習・復習する。また、生涯を通じてスポーツに親しむ（する・見る・支える）資質を養うために、各種目の起源（歴史）や特徴（楽しさ）を学ぶ。 予備知識：運動種目のルール、および4学年時までに学んだ運動生理学の基礎知識。 その他：担当者により、授業内容の順序・授業方法・評価方法に違いがあるので、授業最初のガイダンスで確認をすること。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、種目選択	年間の授業の流れと評価方法を把握する。選択種目を決めチーム分けを行う。			
		2週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。			
		3週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。			

		4週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
		5週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
		6週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
		7週	選択種目 筆記試験もしくはレポート課題	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。 青年期の身体組成と健康問題および運動処方について学ぶ。	
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
	後期	3rdQ	1週	種目選択	選択種目を決めチーム分けを行う。
			2週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。
			3週	選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。
4週			選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
5週			選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
6週			選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。	
7週			選択種目	選択種目のルール・試合方法・技術を実践・理解できる。 生活習慣病および血糖値について学ぶ。	
8週			体育祭リハーサル	体育祭のリハーサルを通して、スポーツイベントについて理解することができる。	
4thQ		9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
評価割合					
	実技試験	筆記試験	取り組み・態度	合計	
総合評価割合	65	20	15	100	
基礎的能力	25	0	0	25	
専門的能力	40	20	0	60	
分野横断的能力	0	0	15	15	